

口語詩句総評 7月

応募要項の発表があつて、投稿がずいぶん増えてきているようだ。35文字という制限は、鳥かごや檻ではなく、ルールです。詩を書く人には短いかもしれないけれど、風景や心情のスケッチに陥っている人が多い。スケッチなら、絵や写真や散文にかなわない。35文字の中で、言葉でしかできない表現を発見してほしいな。

新型コロナを反映した作品も多い。

ふりむきざま  
君はわたしの手を引いて  
マスク越しに  
キスをした

屋号で呼び合うが  
みんな閉店した商店

など、ユーモアがいっぱいで、笑いたいけど、笑えないよ、ね。  
7月の投稿作品で、ほかに気になった作品たちを紹介します。

雨は孤立させるから好き

上手な別れ方の前に  
伝わる愛し方を  
知りたかった

織姫と彦星は  
遊んでばっかだから

神様に怒られたんだって

神様すぐ怒るよね

一番ファースト佐藤くん

大丈夫、いけ。

ノートはとってあるぞ。

などは、みんなすごい傑作だな。

また、よくわからないけど、やっぱりわからないところが、不思議な魅力になっているのが、以下の2作品。

芋を蒸かす為の神様がいる

一度でいいから

ストリップを観たいと言う

嘘、耳朶、回線、形成、

雨季、名前のないお嬢さん、

四角い混沌の正体。

だんだん、それぞれの個性が見えてきているような気がします。ほかにも才能を感じる、いい作品がたくさんありました。ぜひ、たくさんの人のたくさんの投稿を期待しています。

とても楽しく読ませてもらっています。

秋亜綺羅

aa@akiakira.com

tel.080.4408.6485